

も どうし

# 議会だより

No.21

平成26年1月1日発行  
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



謹  
賀  
新  
年

いつまでも元気でね（ふれあいサロンにて）

- どう使われるのか補正予算 ..... P 2
- 一般質問 7 名が問う ..... P 6～11
- あの一般質問は・今（川の水質は） ..... P14
- 紹介／がんばる人紹介 ..... P15～16

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

# 12月 定例会

12月定例会は12月10日から13日まで開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正等の可決、新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書を採択して終了しました。  
また、7人の議員が一般質問をし、村政の考えを聞きました。

## おもな補正予算

● 一般会計補正 2億4,671万円を追加

### おもな財源

国庫支出金	576万円
地方交付税	3,025万円
村債(借金)	1億5,420万円
繰越金	5,322万円

### おもな使いみち

消防費(無線デジタル化負担金)	1億6,825万円
総務費(ATM設置費用)	1,300万円
社会教育費(椿公民館撤去)	787万円

特別会計補正は5会計の補正がありましたが目立つところがないので記載しませんでした

### 視点

消防無線をデジタル化し道志、都留、上野原を一体化するための負担金です。災害時の連携が出来れば良いと思います。「道の駅どうし」にも都留信用組合のATMを設置することになりました。

この事業は、村民の強い要望があるため、道志村と都留信用組合で協議した結果、「道の駅どうし」の駐車場にATMを設置して村民の要望に応えるものです。建物は道志村で、内部機器は都留信用組合の負担とし、四月から利用開始の予定です。

## 議案等の審議結果

★ 全議員が議案に賛成、認定及び同意いたしました。

議案等番号	件名	審議結果
議案第54号	道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第55号	道志村介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第56号	道志村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第57号	平成25年度道志村一般会計補正予算(第4回)	原案可決
議案第58号	平成25年度道志村国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決
議案第59号	平成25年度道志村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1回)	原案可決
議案第60号	平成25年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決
議案第61号	平成25年度道志村介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決
議案第62号	平成25年度道志村浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決
請願第2号	新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の採択を求める請願	採 択



# 議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



診療所玄関前

## Q 道志村診療所玄関の雨よけ対策について

- 診療所の玄関、急患搬送入口は雨よけがないため、利用者が不便をきたしているが

**A** 平成26年度当初予算に計上して早急に対処する予定です。

### 議員の意見

以前にも相談しましたが、雨天時等には滑り易く、危険度が高いため早急に対策が必要である。

## Q 診療所の胃カメラを更新したが、その後の状況は

- 検診日を週1回から2回に増やして実施しているようですが状況はどうか

**A** 検診の待機期間が約3ヶ月から1ヶ月に短縮されるなど、効果が表れています。

## Q 自主防災組織について

- 現在の自主防災組織では、大地震等の災害時には機能しないのではないか

**A** 長又地区で住民が中心となって進めている、新しい形の自主防災組織をモデルとして、他の地区も強化・充実を図っていきます。

### (議会報告)

- 10月26日川原畑地区にある、養豚場から高濃度のし尿が野竹沢に流出しました。

\*この事故に対して、11月8日に全員協議会を開き、(有)相模原畜産に出席を求め、事故の原因について説明を受けると共に、事故報告書、改善報告書の提出や、今後二度とこのような事故を起こさないよう要請いたしました。

なお、事故原因は、し尿を処理施設に送る水中ポンプの故障とのことでした。

# Q 「日本で最も美しい村連合」 今後の対応は



でわかずとし  
出羽和乎 議員

**出羽**

「日本で最も美しい村」連合に道志村も昨年加盟しました。10月北海道美瑛町の取り組みを研修しました。

加盟後5年ごとに最も美しい村づくりの基本理念が継承されているか、より美しい村づくりを目指して運動が定着されているかを再審査で確認しています。

せっかく美しい村連合に加盟したので、道志村を美しくする運動を展開すべきだと考えるが。

**村長**

加盟後の取組みについては、私が就任して、すぐに会議があると感じましたが、公務の都合で参加できず、代わりに議員さんと職員に出席して

いただいた状況です。

農山村の景観、その中には道志川の清流もあり、各地区には伝統文化があります。

これらの全てをさらに美しく育て守る責任もあると承知しております。

今後の取組みについては、議員各位の意見を聞かせていただき対応したいと考えます。

## 「日本で最も美しい村」連合とは

近年、日本では市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源を持つ村の存続や、美しい景観の保護などが難しくなっています。そんな日本の農山村の景観や環境・文化を守り、将来にわたって美しい地域で有り続けるために活動しているNPO法人です。  
道志村は、平成24年度にこの連合に加盟しました。



北海道 美瑛町

**出羽**

**Q 住民ニーズの把握は**

住み良い村づくりのための政策を展開するには住民の望むことをすべきだと思います。住民ニーズがどこにあるのか把握することが大事だと考えるが。

**村長**

村づくりのための予算をつくるには、村民の皆様へのニーズがどこにあるかを把握する事と考えますが、これからの課題として、村民の皆様との対話集会等を計画して住民ニーズを把握して村政に反映したいと考えます。

「再質問あり」



おおたひろふみ  
大田博文 議員

# Q 合併浄化槽の整備状況は

大田

一般家庭は、設置がどの程度終了しているのか。また、別荘やキャンプ場の整備状況は。

A 普及率89%となる予定

産業振興課長

合併浄化槽573基の整備を予定しておりますが平成25年度末の設置基数は508基であり普及率89%となる予定です。別荘は、住民票のない方については事業の対象となっておりません。

大田

Q 各指定管理の運営状況は

道志の湯をはじめ、赤字経営の指定管理施設の運営方法は。

A 誘客や売り上げの増加に努めていく

産業振興課長

村では12の施設を管理委託施設として協定を締結しております。

赤字経営のその後ですが、最新の情報発信を行い誘客や売り上げの増加に努めています。

収支状況ですが、前年度の事業報告書で見ますと赤字施設は5施設となっております。赤字施設については、運営方法等について協議を行い改善を行ってまいります。

大田

Q 保育園の場所の変更はできないか

小中学校を建設する場所に保育園を建

てることができなにか。学童保育施設も同じ場所に移動できないか。

A これから委員会で方向性を決めていく

教育長

現在、村長の諮問機関として、検討委員会を設置して検討を始めているところです。現在中学校が建っ

ている敷地に、小学校及び中学校を建て直すところまでは決まっております。

今後、保育所や学童保育施設も検討してもらいたいという声も聞いておりますので検討の中には入ってきますが、これから委員会で方向性を決めていきますので、はっきりした回答は致しかねます。



設置様子

大田

Q 国道413号線の危険箇所は

国道413号線は、交通量も多くなり、カーブが多く死亡事故も起きています。安全、安心な道路づくりに向けての考えは。

A 常に要望をしている

産業振興課長

国道413号線は村にとつては重要な幹線道路となっておりますので、危険箇所の改良整備は常に要望をしているところでございます。

平成25年度も5月に議員、県議及び建設事務所合同による国道の危険箇所を調査し、要望書を提出しました。

「再質問あり」

# Q 太陽光発電 施設の設置は



山口

再生可能エネルギー創出事業として、当初予算でやまゆりセンターに太陽光発電施設を設置することが決まっています。

発電をした電力はやまゆりセンターで使用し、残りは売電するということでした。ただ、売電価格は2014年から下がるといわれています。一刻も早い設置を考えた方がいいのではないかと。

A 今後設置場所を

検討し進めて行く

教育長

やまゆりセンターの屋根、あるいは、体育館の屋根への太陽光発電施設の設置については、設置後の屋根のメンテナンスや、施設の荷重への

耐力が保ち得るかどうか、それに、大雪後に大量の雪が一度に落下する恐れがあり、

利用者の多い施設では危険なものではないかなど、いろいろ検討をしてきました。これらを踏まえ、太陽光発電施設については、公共施設の屋根ではなく、遊休農地や耕作放棄地への設置について検討をし、進めていきたいと考えます。

山口

Q 他の再生エネルギー

ギーへの取り組み

みは

災害時の避難所のエネルギーの供給などを考えると、今の電力に依存するだけのシステムでは、不安な点もあると思います。太陽光以外で

他の再生エネルギー政策への取り組みは。

A 発電機などの

対応で

村長

エネルギー政策につきましても、ご指摘のとおり、今の電力に依存するだけではなく、道志村は山林や遊休農地が多いので、それらの土地を活用した太陽光主力の、エネルギー政策に取り組んでいきたいと考えています。

「再質問あり」



# Q 予定事業の 進捗状況は



すぎもとひであき  
杉本秀明 議員

## 杉本

時が過ぎるのは早いもので平成25年度も3分の2を過ぎようとしています。

本村も3月定例会で当初予算の策定をし、各事業の議決をした訳ですが、その進捗状況は、予定どおり進んでいるのか。

**A 事業**によってバラつきがあるものの、概ね順調に推移しています。

## 産業振興課長

### 一般会計事業

農林水産業費は、1千15万円の事業費に対して15%の実施、観光費1千207万円については46%が発注済みとなっており、両方とも、残額については実施に向けて作業中です。

土木費は、2千980万円の予算のうち1千850万円が橋梁長寿命化国庫補助事業で、この事業が

県との調整により来年度実施となったことで、減額処理をする予定ですが、したがって、残りの事業費に対しては100%実施済みです。

### 消防費

消防費809万円は、貯水槽撤去及び防災倉庫設置事業のため、いずれも、地権者等と調整中であり現在未実施です。

### 教育費

教育費1千848万円につきましては、20%が発注済みであり、太陽光発電システムにつきましては、現在検討中です。

### 特別会計事業

#### 国民健康保険診療所特別会計

予算の施設整備費1千29万円につきましては、診療所の内視鏡ビデオシステム整備を実施し11月1日より稼働しています。



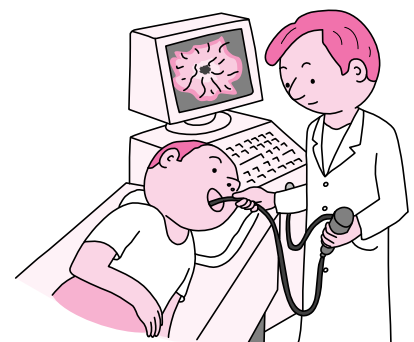
新しい 胃カメラ

### 簡易水道事業

#### 特別会計

予算の施設費4千万円につきましては、白井平、長幡簡易水道の本管布設替えが主な事業で大部分は実施済みですが、白井平簡易水道国道本管布設工事につきましては、12月に入札予定となっています。

また、長幡簡易水道第2給水区給水管布設替え工事につきましては、県営の中山間地、地域総合整備事業に合わせて平



成26年度に実施予定です。

よって、この事業に係る予算についても減額処理します。

### 浄化槽事業特別会計

予算において施設整備費5千384万円の進捗については、浄化槽本体工事19基を予定していますが、現在11基が設置済みで、残り8基につきましても年内完成を予定しています。

「再質問あり」

# Q 村民との対話は どうするか



池谷

直接村長と住民との対話があったほうが、村長の方針も理解してもらえ、住民にとって対話ができる村長として、より一層の支持を得られるのではないでしようか。

村長就任から半年

経ちますが、村民との対話の場をどのように考えているか。

A 村民の皆様と対話の場をつくり

村長

質問のように、住民の皆様の見聞かせていただき対話して、政策に取り入れていく事は大事なことで考えます。

対話の場は、各地区から代表として議員さんが選出されてきていますので、行政と一緒に村民の皆様と対話の場をつくり村政に反映していければと考えます。

「再質問あり」





# Q 福祉施設は どうする



おさだ たつよし  
長田達義 議員

長田

昨年、本村は老人ホームの建設ではなく、在宅介護の方向で行くということでした。

村長は9月定例会で29床の地域密着型特別養護老人ホームを建設する考えのようですが、29床でいくのか、または100床か、それとも在宅介護で行くのか。

**A** 29床の地域密着型特別養護老人ホームで

村長

現在、福祉施設を道志村へ設置できるのは、29床の地域密着型特別養護老人ホームです。このことについて県の長寿社会課の指導をいただきます。くなかで考えていきます。

長田

**Q** 横浜市からの補助金は

平成26年度で浄化槽事業が終了となりますが、これに変わる事業や方策を考えているか。

**A** 延長等継続して整備ができるように

産業振興課長

合併浄化槽は特定地域生活排水処理計画において全体で573基の計画で事業を実施していますが、平成26年度末には527基の実績となります。全体計画より46基不足が生じることから、事務レベルではありますが、横浜市へ延長等継続して整備ができるようにお

願いをしているところですが。

今後、正確な設置希望者を調査確認し正式な交渉作業を実施していく予定です。

「再質問あり」



福祉センターにて

# Q人口減少対策は どうする



佐藤

人口減少が続いている当村です。議会では人口増加対策特別委員会を立ち上げ、雇用の場を増やすことを目的とした施策と、世帯増加を目的とした婚活支援を中心に活動を始めました。

道志村には世帯者向けの村営住宅は有るが、単身者向けの住宅がありません。

北海道の下川町は、木質を利用した産業を中心に雇用を増やしています。また、単身者も居住できるエコハウスもあり、受入体制作りを行っています。

当村においても、単身者を受け入れられる住宅も必要と考えるか。

**A** 単身用は今のところ考えておりません

村長

単身者を受入れられる住宅も必要とのご質問でございますが、現在の村営住宅については、池の原住宅12世帯・谷相住宅4世帯・若者定住促進住宅4世帯が建設され合計20世帯の住宅が整備され、道志村総合計画に掲げる目標戸数に達しております。

池の原住宅につきましては、23年が経過している事から、今後、維持管理に経費が必要と考えられ、単身用は今のところ考えておりません。

しかし、今後のニーズによっては、村費での建設または、補助金等を利用しな

から考えて行かなければと思います。

佐藤

**Q** D1グランプリについて

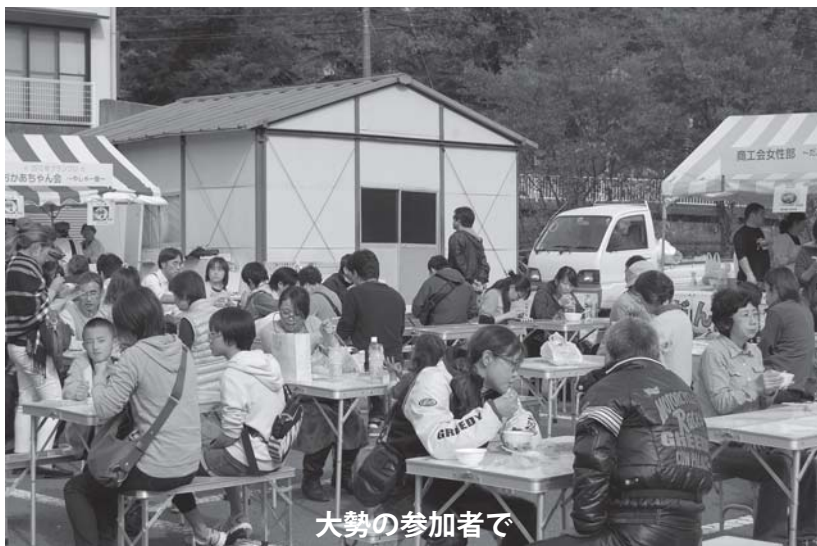
11月2〜3日にR413フェスティバルD1グランプリが道の駅で行われ、大勢のお客さんの来店もあり大成功に行われました。

しかし、そのままで終わりではD1グランプリが生きません。グランプリ料金を村のブランド品として、1年間道の駅や道志の湯等で販売すべきと考えるが。

**A** 村内の活性化のために推進していく

村長

昨年のグランプリ料



大勢の参加者で

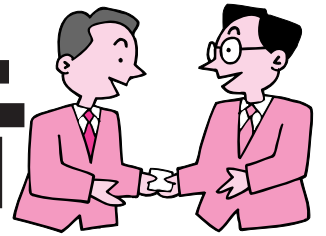
理につきましては、「道の駅」・「道志の湯」において行われたイベント開催時に販売を実施しております。

今後は、村内の活性化のために「道の駅」や「道志の湯」はもちろ

「観光協会」とも協議し、民宿や飲食店での提供も視野に入れながら推進して行きたいと考えています。

「再質問あり」

# 議会活動報告



## 消防団消火訓練を視察して

全議員 11月10日

道志村消防団のポンプ操法などの訓練を視察し、村の防災や減災について改めて考えさせられました。また、山林火災のこわさも本年体験しました。その教訓で、室久保地内グラウンドに100トンの貯水槽を設置予定です。日頃の消防団の活躍に感謝するしだいです。



訓練風景

## 第13回富士箱根伊豆交流圏市町村 サミットに参加し防災の勉強

全議員 11月15日



小田原にて

小田原市において、山梨県、神奈川県、静岡県と箱根、伊豆近隣市町村によるサミットが行われ、国と3県の知事及び各市町村長、議員が参加して、今後の防災対策と現在行っている対策事例の発表が行われました。各市町村とも住民の理解と協力、そして行政の説明、進め方に苦慮しています。当村においても防災に万全はないので、これからも官民一体となり安全、安心な道志村を作りたいと思います。また、各市町村の地産品の試食会もあり、道志村ではクレソンサラダの紹介がありました。

## やまなし水源地ブランドシンポジウム in 山梨に参加

全議員 11月28日

山梨県の早川町は静岡県、丹波山村は東京都、道志村は神奈川県と3町村は大都市の人々の生活を支える「水源地」ですが、近年過疎化が深刻化しており、森林整備もままならず、水源地としての機能を果たすことも難しくなってしまう状況です。田舎も都会もなく、共有資源としての緑豊かな水源地を産、官、民が力を出し合い守っていこう。

そんな活動目的に3町村が中心になってのシンポジウムでした。道志村も早川、丹波山と共に森林保護に努めていきたいと思っています。



研修の様子

# 活動報告



## 人口増加対策特別委員会報告

(委員長 出羽和平)

道志村ではこの5年間の平均で、毎年25人の人口減少がみられます。これからは、ますます少子高齢化が進むため、人口減少型社会にどう取り組むか検討し、特別委員会を設置して対策を考えていくことになりました。

政策部会(山口力部会長)と出会いサークル部会(山口勝也部会長)に分かれ、月に1度部会を開催して議論しています。短期的には26年度当初予算に事業化できること、長期的には次の長期総合計画(2016年~2025年)に政策提案できることを目指しています。

住みよい村づくりを進めるため住宅、教育及び子育て支援の充実、そして雇用の場を確保し情報発信することにより、Uターン、Iターン者を呼び込み、人口の減少に歯止めをかけたいと考えています。

10月に北海道下川町人口約(3600人)を視察しました。毎年50ヘクタールの造林×60年伐期の循環型森林経営を実践しています。伐採と植栽が永久に繰り返され持続可能な生産体制となり、就労、雇用の場の確保が容易となり、平成14年以降のUターン、Iターン者25名が森林組合に就職し森林管理の仕事についている。さらに森林組合への就職希望者30名以上が待機しているとのことでした。いかに安定的な雇用の場の確保が大切かと痛感しました。



下川町にて視察

## 政策部会

政策部会では、平成26年度当初予算に事業化できることを対象に議論を重ねてきました。その一つとして全国的に民有林の荒廃が進行しているなかで、間伐を軸にした森林整備事業を推進することを提言。



森林組合の説明風景

- ・間伐することで木が育ち価値が上がる。
- ・下草がはえて、土砂災害などの防災、減災になる。
- ・測量することで境界の確定や山林所有者が明確になる。

\*長期的な課題と対策(平成26年~)

- 雇用問題(働く場の確保)
- 教育・医療・住宅
- Uターン・Iターン推進
- 情報発信

# 特別委員会

## 出会いサークル部会

出会いサークル部会では、適齢者の結婚問題を中心に議論してきました。男女の出会い場の提供、個々の縁結びをするため、住民健康課と協議し結婚相談事業を、要綱を定めて運用することになりました。

結婚相談員は2名から6名に増員し、議員が推薦して、12月19日に村長より委嘱されました。

### \*結婚相談員名簿

- ・善ノ木地区 池谷 幸昌 さん
- ・神地地区 山口 和男 さん
- ・川原畑地区 藤原かず代 さん
- ・長幡西地区 佐藤 清 さん
- ・長幡東地区 佐藤 守一 さん
- ・久保地区 村田 孝代 さん



\*相談員の任期は3年、業務は結婚に関する相談、結婚相手の紹介及び仲介です。活躍を期待するとともに、議会としても全面的にバックアップしていきます。

\*平成26年度当初予算に結婚祝い金として、現行5万円を20万円に増額することを提言する。

\*平成26年5月を目標に婚活イベントを開催する予定です。準備を進めていますので、真剣に結婚を考えている方の参加をお待ちしています。

## こんな声をいただきました あなたの声を議会に



ご意見に対しては、  
本人に直接お答えを  
しています。

議員各位の方々ご苦労様です。  
議会だより毎回楽しみにしています。  
ただ、毎回「再質問あり」と一般質問の最後  
に書いてありますが再質問の内容答弁も  
掲載してもらいたいです。 **57歳 男性**

わかりやすい議会だよりありが  
とうございます。  
ご苦労様です。 **83歳 男性**

特別養護老人ホームについて、320人もの高齢者がいる中で29床のホームを設立しても問題が多く、なるばかりでは……。今、村の高齢者を抱えている家族は、最後迄家で過ごしたいという親の面倒を家で見てあげたい(感心します)と思っている人達が多いと感じています。(都会ではとても考えられない事ですが、村の人達の好きでしょうか。)ホーム設立よりも在宅介護の手助の充実の方が先ではないでしょうか。  
\*個人で営利目的での建設はかまわないと思いますが。 **65歳 女性**

\*議会だよりNo20：クイズチャレンジの回答 ① → ○ ② → × ③ → ○



# あの一般質問は今・・・

平成24年9月定例会

## 質問

道志川の水質保全と

環境整備対策は

## 答弁

現時点では、「きれいな水域」です。今後も保全計画、漁協等との連携で維持管理をする。

平成24年12月定例会

## 質問

役場庁舎の

建て替えは

## 答弁

まずは準備して、財源確保のための基金の設置を考えている。

その結果 **今は**



役場玄関

役場庁舎については、耐震基準に達していないので、建て替えの方向で検討しています。平成24年度から、基金の積立を始めました。



清流道志川

本年度は道志川の環境、魚類生体調査を実施、いろいろな影響を確認し、26年1月末に結果が出る予定です。

**議会の考え**

小中学校の建設のあとに本格的に検討にはいっていきたい。

村の誇りである道志川の景観と水質を後世に伝えたい。

# 剣の道は人の道

保護者会会長 渡辺 堅一さん

剣道連盟代表 佐藤 一仁さん



剣士集合

紹  
しょうかい  
介

剣道スポーツ少年団

道志剣道連盟は、昭和56年（1981年）4月から活動が始まり、今年で創立32年になります。今まで多くの剣士を輩出してきており、高等学校や大学進学後も剣道で活躍する会員もいました。現在は、中学生3人、小学生10人、保育園児1人の14人が在籍しています。毎週木曜日、旧唐沢小学校体育館で19時半から21時まで稽古に励んでいます。

「剣道は剣の理法の修練による、人間形成の道である」という剣道の理念に基づき、剣道の稽古を通して、感謝する気持ちや、礼儀を学べるような活動をしています。稽古場に入る際、靴

をそろえ、あいさつをしっかりとる。防具や竹刀は、自分で持つ。終わったら掃除をする。当たり前な事を当たり前前にやることを大切にしながら、技術向上に努めています。

また、各種大会にも、山梨県体育祭りを始め、南都留郡体育祭り、近隣市町村の市制祭大会等に、個人や団体で参加しています。年末には、村内の剣道大会も実施しています。その他に昇級、昇段審査も受審していて、ほとんどの会員が中学校卒業までに二段を取得します。

剣道を通して、大きく成長してほしいと願います。



練習風景



練習風景

# がんばる人紹介

## 「先輩の一言」で人生が変わった

昭和62年正月の光景が今でもはっきりと思い出されます。それは、職場の先輩Kさんの一言でした。荒れ狂っていた私に、佐藤君、飲む、打つ、買う、の人生はつまらないぞ、そういつて審判を勧めてくれました。

この一言が私の人生の転換期となり、昭和62年5月に第三種、平成3年に第二種、同6年に第一種のソフトボール公認審判資格を取得し、今日まで27年間続けて来ました。この間、全日本女子一部リーグ等の全国大会に数多く参加する機会を得て、決定的な場面に何度も遭遇しましたが、そのたびに公平な判定を下す事が出来、幸せな審判人生を過ごすことが出来ました。



ソフトボール公認審判  
佐藤 勝彦さん



主審の様子です

長く続ける秘訣は？と、たまに聞かれますが、人の為と思ったら続かない、自分の資質向上の為にやっていると答えます。

謙虚な気持ちを忘れず、「涼風一陣」さっと吹き抜けてゆくが如き、爽やかさが残るような審判員になりたいものです。

## 写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

広報常任委員会  
委員長 杉本 秀明  
副委員長 山口 力  
委員 出羽 和平  
委員 佐藤 定三

昨年、道志米が初めて作付けされ美味しいと好評でありました。今年は2年目で多くの方に道志米に挑戦してもらいました。今後も村民の皆さんのご協力を頂き道志村のブランド米として広めていきたいところです。また、11月に行なわれたD1グランプリも大成の発展にも寄与される事を期待したいと思えます。読みやすい「議会だより」をめざしながらがんばります。平成26年年頭にあたり村民の皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ編集後記とします。  
(佐藤定三)

編集後記